



〈アスリート子育て支援事業〉

日吉佳代子先生×高木エレナ選手による子育て対談 実施要項

- 1 目的 海外では結婚・出産、育児をしながら競技生活に復帰し、さらに代表に選ばれる選手も珍しくない。日本ではそうした例は他の競技を含めて稀であり、多くの場合、引退というピリオドが打たれる。今回、日吉佳代子先生を聞き手とし、子育て中で日本代表経験もある JHL*・高木エレナ選手を親子育チャンネルに招き、対談を行う。収録動画は YouTube を通じて広く発信し、子どものいる女性アスリートが競技を続けるための課題、家族コミュニケーションの在り方や智慧など、同じ環境に置かれる若きアスリートはもとより、多忙を極める多くの社会人にメッセージとエールを送る機会とする。

*JHL：Japan Handball League 日本ハンドボールリーグの略称

- 2 主催 NPO 法人親子育
3 共催 神奈川県ハンドボール協会
4 日時 2024 年 [令和 6 年] 8 月 6 日 (火)
14:30 集合、準備・打ち合わせ
16:00 対談・収録開始
17:30 終了～夕食・歓談
19:00 解散予定



- 5 場所 「憩い広場びいだま」
〒185-0002 国分寺市東戸倉 2 丁目 2-17 電話：090-1501-0718 (山本純一)
- 6 対談者 NPO 法人親子育 理事／宇都宮共和大学 名誉教授 日吉 佳代子
(敬称略) 三重バイオレットアイリス GK (ゴールキーパー) 高木 エレナ
*長男・陽翔 (ひなた) 5 歳、長女・ソア 2 歳 同行
- 7 内容 アスリートの子育て体験談
職場・所属チームとの関係性、相互理解や協力に関すること
家族内コミュニケーションなど
- 8 関係者 (1) NPO 法人親子育 理事長 日吉 有為
理 事 平田 彰 (事務局長)
(2) 神奈川県ハンドボール協会 会 長 塩谷 和雄
副会長 本田 義昭 (ライズスポーツ委員長)
理 事 稲葉 由香 (ライズスポーツ委員)
- 9 予算 NPO 法人親子育と神奈川県ハンドボール協会の取り決めによる。
- 10 備考 編集動画は、NPO 法人親子育及び神奈川県ハンドボール協会の諸媒体 (ホームページ等) を通じて公開する。その他、必要に応じて定める。